

診療内科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合内科 (新)新患・(再)再来	(新)河合 (新)竹村	(再)壁谷 (再)新井	(新)新井 (新)高橋	(再)飯島	(新)河合 (新)長坂	(再)河合 (再)飯島	(新)新井 (新)武井	(再)壁谷	(新)河合 (新)壁谷	(再)新井
循環器	植田	高松 佐鳥	井上 間淵	井上	☆山岸 小野	☆山岸	飯島 植田 高松		小野 ☆山岸	間淵 佐鳥
呼吸器	中川	中川	塚越	塚越		中川 須賀(達) ☆池田 ※禁煙外来	竹村 <small>嚥下外来 (第1~3週) 在宅酸素外来 (第2週)</small>		☆池田	塚越
血液	外山	長坂	神保 斎藤(明)		斎藤(貴)			神保 斎藤(明)		外山
腎臓・リウマチ	武井	☆太田		河合	☆太田			河合 高橋	塚田	塚田
糖尿病	☆久永		☆朱		☆久永			☆久永	☆久永 ☆朱	☆朱
神経内科	柳澤	柳澤	柳澤		柳澤			柳澤	古田 古田 (第2-4) 柳澤 (第1-3-5)	
甲状腺				※常川						
(消)消化器・(肝)肝臓	(消)☆山口	(消)秋谷		(消)壁谷	(消)☆山口		(消)秋谷			
緩和ケア外来		※柳澤 (15~16時)								
心療内科	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)		※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	
			※高橋	※高橋	※鈴木	※鈴木				
小児科 (乳)乳児健診 (再)予防接種	川嶋 ☆懸川 相馬 10時~	(心臓)※岡田 (第2-4) ※川嶋 (乳)※堀越	川嶋 深澤	※川嶋 ※相馬	川嶋 ☆小山	※川嶋 (内分泌) ※小和瀬	川嶋 堀越 ☆小坂橋	※五十嵐(恒) ※川嶋 ※深澤	川嶋 相馬 ☆牧岡	※川嶋 ※懸川
外科 (新)新患 ()がん専門外来	(新)☆松本 田中 小野里	(消化器・乳) ☆松本 (消化器・食道) 田中 (呼吸器・乳) 小野里	(新)☆松本 谷 (※第2)石崎	(消化器・乳) ☆松本 (胃・大腸) 谷 (消化器・乳) 石崎	(新)☆松本 高橋 谷		設楽 (肝胆脾・肛門) 小林	(呼・甲・食) 設楽 (消化器・一般) 高橋	(新)☆松本 熊倉 森永	(消化器・一般) 熊倉 (胃・大腸・肝胆脾) 森永
ストーマ外来										
整形外科	西野目 久保井 小野		中島 勝見 萩原		西野目 面高 萩原 (リハビリ) 清水		足立 面高 小野		中島 久保井 萩原 (リハビリ) 清水 10時30分~ 器具外来	
脳神経外科	山口		非常勤		田村 ※甲賀				非常勤 甲賀	
皮膚科	嶋岡		嶋岡	[手術]	嶋岡	[手術 13~15時]	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
泌尿器科	内田	内田	井上	井上	曲		内田		武井 内田	武井
産婦人科 (婦)婦人科・(産)産科	(婦)吉田 (産)☆延命	吉田 (術後検診)	(婦)☆延命 (産)吉田	(産)☆延命 ※吉田	(婦)吉田 (産)矢崎	※吉田	(婦)☆延命 (産)遠藤	(婦)遠藤 (婦)☆延命	(婦)矢崎 (婦)吉田	※吉田
助産師外来		※13~14時		※14~16時		※14~16時				※14時~16時 (第3-4)
眼科	須藤	[検査]	須藤	[検査]	須藤	[検査]			須藤	[検査]
耳鼻咽喉科		※群大 (14時30分~)			※古屋		※群大	※めまい外来 (14時~)		
ペインクリニック	日野/荒井						牛込			

診療時間：8時45分~17時00分 ※は完全予約
受付時間：〈午前の部〉8時~11時 〈午後の部〉13時~16時 ☆は女性医師

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市藤岡942番地1 公立藤岡総合病院
(代表)TEL 0274-22-3311 FAX 0274-24-3161 URL <http://www.fujioka-hosp.or.jp/>
■責任者 甲賀 英明 ■地域医療連携課 (直通)TEL 0274-22-6039 FAX 0274-24-7002

公立藤岡総合病院

地域医療 連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実に目指します。
- ・地域がん診療拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。



新年を迎えて



病院長 鈴木 忠

明けましておめでとうございます。

経済再生・アベノミクスの御旗のもと景気回復の兆しがあるとされておりますが、私たち医療界にあっては、4月に施行される消費税アップ・診療報酬改定で今年はより厳しい1年となりそうです。

国は2025年の超高齢化社会を迎えるにあたって、医療サービス提供体制の改革として、地域で必要となる医療・介護サービス確保のため、病院・病床機能の分化・強化と地域包括ケアシステムの構築をとうして、在宅医療・在宅介護の推進をはかろうとしています。今度の診療報酬改定における一般病床7対1入院基本料における看護要件の見直しも急性期病床の機能適正化の一環ととらえられます。

群馬県においても第7次保健医療計画の策定に向けて調査検討が進められており、県が二次医療圏等ごとに各医療機能の将来必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化・連携を推進するために2015年度には地域医療ビジョンを策定することとなっております。現在、当院の利用者の1/3以上は埼玉県北部の方々であり、群馬県の藤岡医療圏の枠組みを越えております。当地域における医療提供体制を検討するには行政の枠組みを越えて埼玉県北部も含めて機能分化・連携が必要であります。それには地域医療に関わる私たち自身が受け身で追従するのではなく、各施設が地域における役割・立ち位置を明確にし、将来に向けて計画策定に参加し、当地域で実践できる・実践すべき地域医療のビジョンをつくりあげなければなりません。地域医療ビジョンは私たち提供者の視点だけでなく患者・利用者の皆さまの視点にたったものとしなければなりません。

今年が私たち地域医療にかかわるものが声を上げ行動する年となることを祈念して新年の挨拶とします。



神経内科(外来センター)の紹介

公立藤岡総合病院 神経内科部長 柳澤 孝之



新年あけましておめでとうございます。
いつも、ご紹介いただきありがとうございます。
心の問題・うつ・不安障害・パニック障害などは心療内科(精神神経科)での診療となります。

神経内科は、脳・脊髄・末梢神経・筋肉の病気を対象とした診療科です。主な疾患は、脳血管障害(脳梗塞など)、てんかん、頭痛(片頭痛など)、片側顔面けいれん(眼瞼けいれん)、認知症(アルツハイマー型、レビー小体型など)、パーキンソン病、本態性振戦、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、重症筋無力症、脊椎小脳変性症、ギランバレー症候群、髄膜炎、脳炎、多発性神経炎、筋ジストロフィーです。

よくある症状としては、突然、意識がおかしくなった、手足に力が入らなくなった、顔面が麻痺した、話づらくなった、飲み込みが悪くなった、ふらつくようになった、手足がしびれるようになった、けいれんする、頭が痛くなった、手足がふるえる、ちょこちょこ歩きになった、物が二重に見えるようになったなどです。



診察用具

診察の手順は、まず詳しくお話をうかがい、神経学的な診察(歩行の様子・腱反射・物忘れのテスト・失調の有無など)をして、血液検査・脳MRI/MRA検査・脳CT検査・RI検査(脳血流スペクト、MIBG心筋シンチ)・脳波検査・節電図・神経伝達速度検査・脳脊髄液検査などを必要に応じて行います。

また、くすりの飲み合わせ・くすりの反応を確認し、症状の変化を見ます。

これらの情報を統合して、何の疾患をお持ちであるか診断します。診断を誤ると、治療・今後の生き方に影響が出ることもあります。



脳MRI装置

また、医療相談員と連携し、診断書(特定疾患・障害年金・自立支援・介護保険など)記載と公的支援相談も行います。

藤岡多野医師会・埼玉北部も含め他の医師会との病診連携(紹介・逆紹介)も深めています。

当センターは、日本神経学会認定教育関連施設に指定されており、研修医の教育・指導も行っています。

当科では、アルツハイマー型認知症・パーキンソン病・パーキンソン症候群・片頭痛・てんかん・脳梗塞の2次予防で、通院されている方が多いです。

最近では、認知症も生活習慣病(糖尿病・高血圧症・肥満・脂質異常症など)が根底にあることも最近わかってきています。それゆえ、若いときから、高脂肪食・高ショ糖食(甘い飲食物)・高塩分食を控えめに、青魚(イワシ・サバ・サンマ・マグロなど)を多めに摂り、有酸素運動(散歩・スロージョギング)・レジスタンス運動(スクワット・腹筋運動など)を続け、禁煙を守ることで、認知症となる確率が減るのだろうと考えます。



脳血流SPECT装置

研修医症例検討会

平成25年12月10日開催

12月10日(火)午後7時から附属外来センターにおいて当院研修医による症例検討会が行われました。



発表者及び演題

1. 佐々木 隆文 「急性増悪を繰り返すうつ血性心不全に非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)が著効した一例」
2. 土田 圭祐 「診断に苦慮した結核性胸・腹膜炎の一例」
3. 根井 翼 「腰痛で発症した血管内大細胞型B細胞リンパ腫の一例」
4. 高野 順子 「Meigs症候群の一例」
5. 寺内 祐理 「小児頭大の巨大な腹腔内腫瘍の一例」
6. 山田 宏明 「巨大な頭蓋骨腫瘍の一例」
7. 荒木 祐樹 「ビスホスホネート製剤長期使用により発症した非定型大腿骨骨折の一例」

検討会の後、来年度の研修医を交えて交流会を行いました。また、今年の院長賞は山田宏明先生でした、おめでとうございます。

短時間ではありましたが楽しい時間を過ごせました。



症例検討会の感想 臨床研修医 山田 宏明

日頃より大変お世話になっております。12月10日に附属外来センターにて研修医症例発表会が開催されました。御出席賜りました医師会の先生方、院内スタッフの方々、誠にありがとうございました。

私は初期研修1年目を群馬大学病院で行い、今年度より藤岡に参りました。半年程ではありますが、診療を通じ地域の皆様と交流させて頂く中で、当院の地域医療における使命と責任を痛感致しました。そして、実際に経験した患者様の中でも、特に診断・治療に苦慮した方について、研究・発表することで、今後の診療にむけて大変貴重な経験をさせて頂いたと感じております。微力ではございますが、多野藤岡地域の医療の一翼を担える様、今後とも精進したいと思います。